及び標準液20μLずつを量り、次の条件で、液体クロマトグラフ法により試験を行うとき、試料溶液中のジシアンジアミドの示すピーク面積は、標準液中のジシアンジアミドの示すピーク面積にジシアンジアミド標準品の純度を乗じた値以下でなければならない（0.5%以下）。

操作条件

検出器：紫外吸光光度計（測定波長：220nm）

カラム：内径4.6㎜、長さ250㎜のステンレス管に粒径５μmの液体クロマトグラフ用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。

移動相：水

流量：毎分1.5mL

④　シアナミド　本品0.400ｇ（0.3995～0.4004ｇ）を量り、水を加え、必要に応じて超音波処理して溶かし、100mLの全量フラスコに入れ、更に水を標線まで加えて100mLとし、メンブランフィルター（0.45μm）を用いてろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に、シアナミド標準品24.0㎎（23.95～24.04㎎）を量り、水を加えて溶かし、1,000mLの全量フラスコに入れ、更に水を標線まで加えて1,000mLとする。この溶液10mLを全量ピペットを用いて量り、200mLの全量フラスコに入れ、水を標線まで加えて200mLとし、標準液とする。試料溶液及び標準液50μLずつを量り、次の条件で、液体クロマトグラフ法により試験を行うとき、試料溶液中のシアナミドの示すピーク面積は、標準液中のシアナミドの示すピーク面積にシアナミド標準品の純度を乗じた値以下でなければならない（0.03%以下）。

操作条件

検出器：紫外吸光光度計（測定波長：210nm）

カラム：次のⅰ～ⅲのカラムをこの順に連結し、ⅰを試料導入部側、ⅲを検出器側とする。

ⅰ：内径4.6㎜、長さ100㎜の樹脂管に粒径７μmの液体クロマトグラフ用多孔性グラファイトカーボンを充填する。

ⅱ：内径４㎜、長さ50㎜の樹脂管に粒径９μmの液体クロマトグラフ用陰イオン交換樹脂を充填する。

ⅲ：内径４㎜、長さ250㎜の樹脂管に粒径９μmの液体クロマトグラフ用陰イオン交換樹脂を充填する。

カラム温度：30℃付近の一定温度

移動相：１mol／L水酸化ナトリウム試液４mLを水1,000mLに加える。

流量：毎分1.0mL